



キリスト教、イスラム教と並ぶ日本三大宗教の一つ、仏教は、紀元前5世紀頃にインドの釈迦によって創唱された教で、日本には、百済の聖明王が釈迦仏像と経典などを朝廷に献上した538年に伝えられたとされています。仏教徒の聖典である経典(仏教典籍・仏典)の探し方について、お経の探し方を中心に紹介します

## 1. 主なお経を探す

一般によく知られているお経は、図書館の検索端末や、仏教の本を集めた図書目録(ブックガイド)で、お経とその解説が書かれている本を探すことができます。また、葬儀や法要などで僧侶が読んでいるお経がどのような内容なのかを知りたいときには、宗派別にやさしく書かれた解説書などを参照してみましょう。

### ■ 検索端末(館内OPAC、webOPAC)での検索

探している経典の名前で検索する場合には、「妙法蓮華経」「般若波羅蜜多心経」のような正式名称より、「法華経」「般若心経」のような一般的な略称で検索する方が多くの資料が見つかります。

### ■ 『仏教を知る本 2巻 思想と仏典』(日外アソシエーツ/編集・発行 2009年)【180.3/ブツ/2】

仏教を知るための本を紹介するブックガイドです。第2巻では、「主なお経」など仏教の思想と仏典を知るための6分野152テーマについて、解説と関連する図書情報を掲載し、巻末には「事項名索引」と「仏教基本用語集」を付しています。

### ■ 「喪主のハンドブック」シリーズ(双葉社 2008～2009年)

通夜、葬儀・告別式、法要・供養などを解説した宗派別の喪主マニュアルです。『曹洞宗のお葬式』『真言宗のお葬式』『日蓮宗のお葬式』『浄土宗のお葬式』『浄土真宗のお葬式』が刊行されており、枕経、葬儀、通夜で読まれるお経を、一般の方向けのわかりやすい解説とともに紹介しています。

### ■ 「わが家の仏教・仏事としきたり」シリーズ(日東書院本社 2009年)

各宗派の教えや開祖、仏事作法、行事など、“自分の家の宗教”について理解するためのシリーズです。『浄土真宗』『曹洞宗』『真言宗』『日蓮宗』『天台宗』が刊行されており、「お経を読む」の章では、その宗派でよく読まれるお経と意識があります。

## 2. 大蔵経(一切経)

釈迦の教えを集めた「経蔵」、戒律に関するものを集めた「律蔵」、釈迦の教えの解説を集めた「論蔵」の「三蔵」を集大成したものが「大蔵経」(または「一切経」)です。インドから、中国、朝鮮、日本、ベトナムに伝わった北伝の漢訳大蔵経、スリランカ、ミャンマー、タイに伝わった南伝大蔵経などがあります。当館で閲覧することができる大蔵経(一切経)を紹介します。

### ■ 『大正新脩大蔵経』全85巻(大正新脩大蔵経刊行会 1960～1978年)【183/タイ/1～85】

国内外で刊行されている北伝の漢訳大蔵経の中で最も代表的なもので、仏典の大部分を収録しています。中国語に訳されたインドの仏典「印度撰述部」(第1巻～第32巻)と、中国で書かれた仏典「中国撰述部」(第33巻～第55巻)、日本で書かれた仏典「日本撰述部」(第56巻～第84巻)などから成ります。別巻に『大正新脩大蔵経図像』全12巻(大正新脩大蔵経刊行会 1988～1989年)があります。

### ■ 「SAT大正新脩大蔵経テキストデータベース2018版(SAT2018)」

(SAT大蔵経テキストデータベース研究会) <<https://21dzk.l.u-tokyo.ac.jp/SAT/>>

『大正新脩大蔵経』の第1巻から第85巻まで、脚注も含め合計1億字超のテキスト全文をデジタル翻刻したデータベースで、インターネット上で一般公開されています。全文検索、ツリー検索ができ、テキスト上のアイコンから該当箇所の版面のデジタル画像を閲覧できます。

### ■『新纂大日本統蔵経』全 90 巻(国書刊行会 1975~1988 年)【183/ツ/1~90】

『大日本校訂大蔵経(卍字蔵経)』(当館未所蔵)の続編にあたり、『卍統蔵経』『統蔵』とも呼ばれる北伝の漢訳大蔵経です。『大正新脩大蔵経』に未収録の仏典や、新発見の仏典等が収録されています。第 89 巻が目録部、第 90 巻が索引部となっています。

### ■『国訳一切経』全 255 巻 257 冊(大東出版社 1936~1991 年)【183/コク】

『大正新脩大蔵経』を底本とし、「印度撰述部」と「和漢撰述部」から主要な仏典を選んで解題を付け、漢文を日本語読みした書き下し文と注釈を付しています。当館所蔵のものは、欠本を改訂版などで補った形で全巻をそろえています。

### ■『昭和新纂国訳大蔵経』全 48 巻(大法輪閣 1928~1932 年)【183/シヨ/1~48】

『大正新脩大蔵経』を底本とし、日本の各宗派と関連が深い主要な仏典を選んで、漢文を日本語読みした書き下し文(総ふりがな付き)と注釈を付しています。

### ■『新国訳大蔵経』(大蔵出版 1993 年~)【183/シン】

『大正新脩大蔵経』を底本とし、「印度撰述部」「中国撰述部」の中から主要な仏典を選んで解題を付け、漢文を日本語読みした書き下し文(難しい語句のみふりがな付き)と註釈を付しています。継続刊行中で、最新の学術的成果を反映した内容となっています。

### ■『南伝大蔵経』全 65 巻 70 冊(大蔵出版 2001~2004 年 ※1935~1941 年刊のオンデマンド版)【183.0/ナン/1~65】

スリランカ、ミャンマー、タイ等の地域に伝えられた、パーリ語で書かれた上座部仏教(小乗仏教)の経典を、ヨーロッパで出版されたローマ字本に基づいて日本語訳したものです。律蔵、経蔵、論蔵の三蔵のほか、三蔵に編入されていない蔵外の典籍(「弥蘭王問経(ミリンダ王の問い)」「島王統史」など)も含んでいます。

## 3. 大蔵経(一切経)の目録・解題等

上記の大蔵経(一切経)に収録されている経典の収録巻が確認できる目録や、個々の経典の解題・解説などが掲載されている事典・辞典類を紹介します。

### ■『大正新脩大蔵経総目録』(大蔵出版編集部／編 大蔵出版 2007 年)【183.0/タイ】

『大正新脩大蔵経』全 100 巻(含別巻)を総覧する「大正新脩大蔵経全覧」と、仏典名にふりがなを付し全巻の内容を網羅的に記述した「大正新脩大蔵経総目録」があり、巻末の「書目索引」と「検字索引」により、正式名称や読み方のわからない仏典も検索することができます。『大日本仏教全書』『国訳一切経』などの掲載も確認できます。

### ■『大蔵経全解説大事典』(鎌田 茂雄／[ほか]編 雄山閣出版 1998 年)【183.0/ダイ】

『大正新脩大蔵経』に収録されている 2,920 の仏典について、各巻の収録順に合わせて排列し、解説や関連典籍、参考文献等を記載しています。付編には「主要著者・訳者解説」と、「大蔵経と日本古典文学」「大蔵経と仏教美術」の関連資料一覧があり、巻末には「全典籍索引」を付しています。

### ■『一切経解題辞典』(大東出版社 2002 年)【183.0/イツ】

『国訳一切経』全 255 巻の全書目に、未収録の主要経典を追加した全 593 書目の仏教典籍とその訳者・著者の解説を収録しています。「典籍解題」には、仏典の解題のほか、『大正新脩大蔵経』を基本とする漢文や、『国訳一切経』ほかの日本語訳の所在を示しており、巻末には「漢字索引」「ローマ字索引」があります。

### ■『南伝大蔵経総目録：パーリ原典対照』(大蔵出版 2004 年)【183.0/ナン】

『南伝大蔵経』全 65 巻 70 冊の総目次と、これに対応したパーリ原典の総目次を掲げ、それぞれの収載巻とページ数を左右見開で示した総目録です。経典名で検索できる索引はありません。

### ■『仏典解題事典』(斎藤 明／編集 春秋社 2020 年)【183.0/ブツ】

インド、チベット、中国、日本の仏教典籍のほか、仏教と密接な関係のあるインドの聖典についての解題を収録し、『大正新脩大蔵経』『国訳一切経』やチベット大蔵経などにおける所在を示しています。巻末には和文索引、ローマ字索引があります。